

ボルネオオランウータンの健康管理に関する取り組みの事例

○森 香奈, 小村 圭
(鹿児島市平川動物公園)

大型類人猿はその動物の性質上容易に捕獲や保定は行えず、様々検診をする場合等は麻酔の使用が必要なケースが多いが動物への負担を考慮すると麻酔使用はリスクが高く、現在当園で飼育しているオランウータンについては行えていない。しかし、大型類人猿の中には心疾患が死因の約 40%を占める種もあり、これまでも当園では、聴診等を無麻酔下での健康管理の一環として取り組んできた。

また、人では齲蝕や歯周病等の歯科疾患が全身の健康状態に多くの影響を与えることが昨今の研究で明らかになってきている。例えば、歯周病と狭心症・心筋梗塞、脳梗塞の他、糖尿病との関係については、疫学調査が多数報告されており、歯周病治療により血糖値コントロール状態が改善するような事例もある、国内のオランウータンの中には、歯科に何らかの問題があるまたはそれが疑われるようなケースがあること、そして、以前唾液採取方法確立の共同研究において、可能性として開口状態からの唾液採取が検討されていたことから、健康管理の一環として新たに口腔内チェックに取り組むこととし、そこに向けたトレーニング等の一例を報告する。

○令和 2 年度(公社)日本動物園水族館協会九州沖縄ブロック飼育技術者研究会

令和 3 年 1 月 13 日(水)

WEB 会議